

「自己努力と自己完結 これものすごく大事ですよ」鈴木忠夫さん

治療後の鈴木さん：気持ちえーわー、(入歯)かちっと入る。

隅田：かちっと入りますか！

2007年の10月に講演会にきていただいたのが、足立歯科に来て頂くきっかけだと思うんです。いまが2013年ですので、今年の秋でまる6年のおつきあいになりますね～。

鈴木さん：あっ、秋でした？

隅田：はい。10月の講座に来て頂いてからということになりますが、治療前と今の治療後の様子の違いとか、特に、生活の中で、歯を治した事で変わった事などあれば、教えて頂けたらと思うんですが。

鈴木さん：小さい時は健康優良児で、歯も丈夫やとみんなからも言われてね。

隅田：はい。

鈴木さん：母親が厳しかったんで、1日2回は、ベターやけど、特に朝は絶対磨かないとだめよという部分はずっと励行してましたね。

それとやはり、よく噛んで食べなさい。これは、小・中と続いていたわけです。

僕は17歳で親元離れちゃって、ずっと谷底のくらし。特に戦時中、考えてみたらねえ、歯ブラシっていうものを置いてなかった。僕、信州の松本の高等学校に行ったんだ。だから、中学卒業してないんですよ。高等学校というても、お勉強はするかしらないけど、まあ生活態度ってのはいいかげんですよ。本当になまけもので、やっぱりそのせいで順次この歯を痛めた。で、やっぱり一番大きかったのは歯がかけたということもありましたね。

その都度、歯の治療はしてもらいました。かぶせてもらったり、虫歯の治療をしたりして、そしてだん

だんだん進行すると並行して、なまけものが進行したのか、なんか歯がぐらぐらしてきて抜けたら、入れ歯のいいかげんなもの作ってもらったりして、それで間にあわせしとった。

まあそういうふうにして歯医者さんへも何回か行ったけど、なまけものだからね。適当に暮らしてきたというのが本音です。

で、にっちもさっちもいなくなって、足立先生に100%預けますといった感じですかね～。それまでにね、歯に対する勉強をしておけばよかったんですが、そういうのがなかったんですね。

歯が痛くならない限り、ちょっとぐらぐらしてたって、抜くっていったって、虫くってたってどうちゅうことないわ、というようなもんですね。

まあ、その痛みがこなかったというのが、いけなかったのかもしれない。でも、歯周病というのは怖い。で、しかも、だんだんだんだん歯茎が勝手に動いてると抜けてちゃって。だからいくつかの歯医者さんにかかっているんだけど、私自身はその一、転々としてきたという感じやからね。気付かないんですわ。

足立先生のもとで、足立先生になんちゅうか男が男に惚れたみたいな、そうやってちゃんと言論があって、行動論があってっていうね。次は何しにいらっしやい。ねっ、男やから約束守らないかと、で、一生懸命にやっとな、そういうリズムがね、なんかできちゃった。

私自身は仕事の上でね、部下をひきつけてやってきたちゅうことはねー、SDEPS。一番最初のSは、いろんな意味があるけれども、まず、スターディー勉強する。サーチ探る。セキュリティーね、そういうやつがいっぱいあるわけ。

D デザインは企画するという。

E がエンジニアリング。

足立先生は、ようするに、ドックっておっしゃる。P がピースやらプロステリティーやろ、通常の仕事の言いますと、P というのはプロダクト。

まさにそこで、仕上げちゃう。僕はずっとその人生てのは、SDEPSというスタンスで歩いてきたんです。歩いてきたんだけど、やっぱり自分自身のことってのは、後回しなんだよね。

自己完結てのはないわけ。自己管理がない人っていうかね、自主努力がないから自己完結ができない。で、あとで気がついてしょうがないと、僕いつも思うんだけどね。

まさに、SDEPSのステップを踏まないといけな。ていうことは、国語でいうたら、自己努力と自己完結。それに、お手伝いをして頂く。よき道へ方針をひきだして頂く。そういういろんなサポートをしていただくというのが、デンタルサポーター、歯医者さん。

健康だってねー、やっぱりつくりこまないと。

隅田：そうですねー。

鈴木さん：ほったらかしにしてたら、健康になるわけない。作りこまないと。作りこむということは、メイク。

そういう足立歯科の世界ヘドーンとはまりこんじゃったわけ。ドーンと！落っこちちゃったね。(笑)

隅田：治療が終わった後はどうですか？快適にお食事ができたりとか、いつもあの一、歯がもうぴったりで、入れ歯じゃないみたいっておっしゃっていただいてますけれども。

鈴木さん：なんとなく朝になって、あっ、そっかこれ、下の方にちょっとあるな。入れ歯か～、なんてもんですよ。

隅田：あの一、定期検診に2カ月ごとにずっと来て頂いてますけれども、2カ月ごとにきていただいて

いる率直な感想を聞かせてください。

鈴木：足踏みをしとったんじゃあかん、走ってもだめ、ねっ、やっぱり、一步一步前進をしていく。前に進まないとね。だからやっぱり健康第一。健康をキープするための検診ですね。

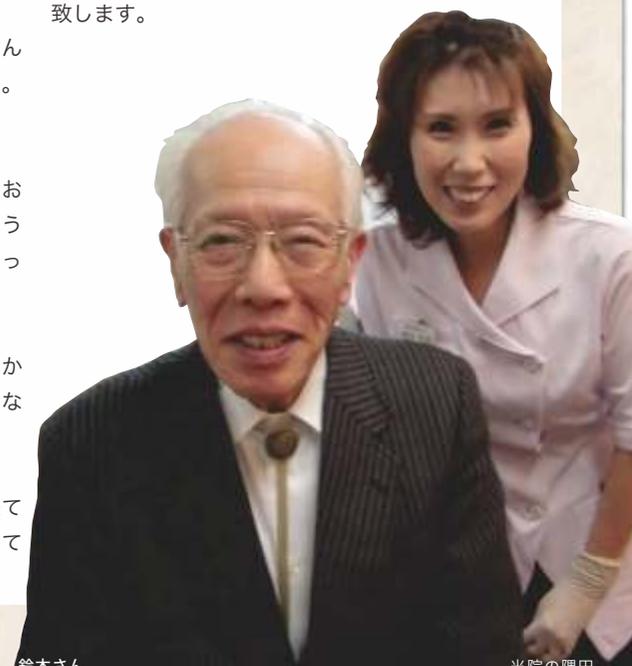
足立先生には自己完結のお手伝いをしていただいているわけです。やっぱり最後は自分。ここへ来ないと自己完結できないわけです。

だから大変ありがたいわけです。そうじゃなかったらぐちゃぐちゃになってますから、今頃。

歯周病なんか誰でもなるんやから。

人間というのは、自堕落なもんやね。自己努力と自己完結、これものすごく大事ですよ。

隅田：そうですね。自己努力と自己完結、とても大切ですよ。私共も、鈴木さんに今後もより良い口腔内環境で過ごして頂くために、精一杯お手伝いをしていきたいと思っております。また次回の検診でお待ちしておりますので、今後ともよろしくお願致します。



鈴木さん

当院の隅田